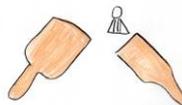




1月の園だより



令和5年1月4日
目黒区立中町保育園園長

あけましておめでとうございます。子どもたちは、久しぶりに会えた友達と嬉しそうに遊び、園内に元気な声が響きわたっています。今週は「新年お楽しみ会」を行います。保育士の獅子舞を見たり、友達と一緒にこま回しや福笑い、かるた、羽根つき等の伝承遊びを楽しみたいと思います。

年末、5歳児クラスの子どもたちが持ち帰ったしめ縄飾りは、春から育てた稲の藁を使い、友達と協力して編み上げました。夏に手作りをした縄跳びの縄で三つ編みの経験はありましたが、布と違い藁をきれいに編むのに苦労しながら最後まで頑張っていました。飾りは、折り紙で鶴作りに挑戦しました。子どもたちが気持ちを込めて作ったしめ縄飾りは、きっとたくさんのご利益があることでしょう。今年も様々な経験を通して、友達といろいろな遊びを思う存分楽しみながら健やかに成長してほしいと願っています。保育園は、子ども一人ひとりの人間形成の基礎を培う大切な時期の保育を担っています。子どもたちが心豊かに安心して過ごせるよう職員一同力を合わせていきますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



行事予定

新年お楽しみ会	お店屋さんごっこ (3・4・5歳児)
身体計測	*乳児クラスも参加します
避難訓練	0歳児クラス懇談会



描画活動

今月はもも組(0歳児)の絵です。両足でしっかり立って全身を支えられるようになった頃から、保育士と1対1で描くことを大切にしています。この時期は紙の上で手を往復させ、感覚運動的遊びとしての楽しさがあります。7月から各クラスの絵を紹介してきましたが、これからも子どもたちの描く絵は『伝えたい話や言葉』と捉え、保育士との対話を大切にしながら豊かにのびのびと表現できる描画活動に取り組んでいきたいと思っています。



太いマーカーを持ち勢よく描き始め、左右に往復線を描いては、ペン先を見て指で触ったりしています。紙からはみ出すほど、大きく手を動かし楽しくなると「えーい」と嬉しそうに声を出していました。

保健室より

《 手洗いで風邪予防 》

健康教育では、手についたバイ菌が体の中に入ると病気になってしまうという話をしました。子どもたちからは、「いつも手を洗っているよ」「お腹が痛くなるからちゃんと手を洗うよ」という声が聞かれました。園では、手の甲や指の間など洗い残しがないように歌を歌いながら手洗いを伝えています。

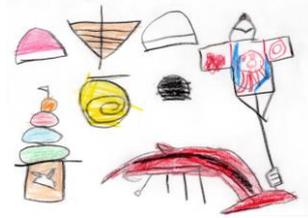


☆予防接種の入力にご協力ください☆

健康カードを返却しますので、1月中にアンケート機能より予防接種の入力をお願いします。
*ご不明な点がございましたらお声かけください。



《室内遊びの様子》



もも組（0歳児）

『 ちょうだい 』

保育士が新聞紙を食べ物に見立てて「いらっしゃいませ」と並べていると、子どもたちがやって来て欲しい物を指さし“これがいい”と伝えてきました。「どうぞ」と渡すと嬉しそうにお辞儀をしながら去っていき、またすぐにやって来ます。「どれがいいですか？」と声をかけると、両手を重ね合わせて「あーあー」と言いながら“ちょうだい”の仕草をしています。「これですね、はいどうぞ」と渡すと、食べる真似をして頬を触りながら嬉しそうに笑っていました。子どもたちは“ちょうだい・どうぞ・ありがとう”など自分の気持ちを喃語や仕草で伝えようとしています。保育士とやりとりをする中で気持ちを共感してもらい、思いが伝わって嬉しいと感じる経験を大切にしていきたいと思います。



たんぽぽ組（1歳児）

『 たのしいね 』

お医者さんごっこを楽しむ姿が増えてきています。初めの頃は保育士がお医者さんになっていました。「どこがいたいですか？」と聞くと「ここ」と痛いところを見せてくれたり、「アーンしてください」と言うと、口を大きく開けたりする姿がありました。最近では、お医者さん役をするのも楽しいようで患者さん役の子ども(またはぬいぐるみ)と対面で座って、丸いソフトブロックを服の上から、お腹や背中にポンポンと当てて診察しています。お医者さん役の子どもが「チクン(注射)します」と言うと、患者さん役の子どもが「イタイ？」と不安そうな表情をするので、優しく注射をしてあげていました。このような微笑ましいやりとりが見られるようになってきています。これからも子どもたちが経験していることを再現して保育士や友達と一緒にやりとりをしながら楽しんでいきます。



ちゅうりっぷ組（2歳児）

『 レストランごっこ 』

三角巾とエプロンを着けた子どもたちがレストランごっこを始めました。友達や保育士がお客さんになってお店に来ると、メニューを渡して注文を聞き、一生懸命に料理を作って運びます。お客さん役の子どもが「このプリンおいしすぎるー、食べてごらん」と友達同士で食べさせ合って「本当だ、おいしい」と盛り上がっていました。店員役の子どもは、しばらくその場において友達や保育士が食べている姿を見届けてから、また嬉しそうに「次は何にしますか」と注文を聞いて作り始めていました。レストランごっこの中で、ただ料理を運んで終わりではなく、そこから会話をしたり、友達の反応に喜んだり、遊びを通して人と関わる喜びがこれまで以上に溢れていることを感じます。日々経験した事のイメージを表現し、それを友達や保育士に伝え喜び合えるごっこ遊びをこれからもたくさん楽しんでいきたいと思います。

